

令和5年度 入学式 式辞(R5.4.10)

校長 杉本 和博

仰ぎ見る立山連峰が、白銀の雪をまとう冬の姿を、少しずつ、力強い春の装いに替えようとしている、この佳き日。

令和5年度 立山町立雄山中学校「入学式」にあたり、立山町教育委員会教育長 杉田孝志 様、PTA 会長 山本智秋 様、そして保護者の皆様のご臨席を賜り、高い席からではございますが、心より御礼申し上げます。

さて、195名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生・教職員一同そろって、皆さんの入学を心待ちにしていました。一方で、皆さんの方は、初めての中学校に、少しでも肩に力が入っているかもしれませんね。でも新しい環境を前にしては、大人であっても緊張するものです。担任の先生や学年の先生、それに頼りがいのある2・3年生の先輩も、皆さんをしっかり支えてくれますから、不安な気持ちになった時には、気軽に声をかけてください。

皆さんが入学したこの雄山中学校は、76年の輝かしい歴史と伝統をもち、その名は、文武両道の中学校として県下でも知られています。また、本校の卒業生の中には、学業や運動、芸術分野で優れた業績を残された方々も多くいらっしゃいます。今日の入学式をもって、全校生徒630人が揃いましたので、みんなの力を結集し、雄山中学校の歴史と伝統を引き継ぎ、更に発展させてく

ださい。期待しています。

ここで、私から新入生の皆さんに2つのお願いをします。

まず1つ目は、「挨拶をすること」です。ここに集まった195人は、たくさんの小学校から来ています。お互いに少しでも勇気をだして「おはよう」と伝えてみてください。「おはよう」の言葉には、「私はあなたの存在を認めているよ」というメッセージが付いていますから、きっとそこから良い関係がスタートしていきますよ。

2つ目は、小6で見た「力」を遠慮なく発揮してほしいのです。私は2年間だけ小学校に勤務していましたが、そこで見た6年生は、小学校のリーダーとして多方面で活躍していました。おそらく皆さんもそうだったことでしょう。その「力」を、1年生だからと遠慮して使わず、「宝の持ち腐れ」にしないでください。もてる力を存分に発揮して、より高みを目指してください。2年生や3年生の先輩を、「今年の1年生はやるなあ、先輩として頑張らねば」と焦らせる1年生なんて、とても素敵です。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。教職員一同、大切なお子様をお預かりする責任の重さを深く心に感じております。

元来、保護者と学校は、共に子供の健やかな成長を願うパートナーであります。多感な時期を迎えたお子様に対し、今日この時から「この子の成長のため

に」を帰着点に、互いに同じ方向を向いてスクラムを組んでいきたいと思いま
す。どうぞよろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、本日おいでいただいた保護者や来賓の皆様、そして
地域の皆様のお力添えもいただきながら、共に協力して21世紀を担う心豊か
なたくましい「雄中生」を育てることをお誓いするとともに、今後の本校の教
育活動に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞と
いたします。

令和5年4月10日

立山町立雄山中学校 校長 杉本 和博